

(学)産業能率大学調査(第10回)

## 2019年「社長が注目する会社」

“投資”を軸に他業種との提携・多方面への事業展開に注目

## ソフトバンクグループ (2年ぶり2回目)

「次はどこと組むのか」(55歳/男性/サービス業/神奈川)

「多方面への事業展開が今はマイナスにみえても先には収益を上げそう」

(50歳/男性/電気・ガス・熱供給・水道業/岐阜)

## ✓「社長が注目する会社」初のトップ10入り

5位/ZOZO:「世の中の動きや消費者のニーズにどこまで対応していけるか」(53歳/男性/運輸業/大阪)

6位/アマゾン・ドット・コム:「ネット通販の世界的会社。今後ますます伸びそう」(66歳/男性/建設業/岩手)

8位/メルカリ:「企業のグローバル化や新たなビジネスモデルに注目したい」(64歳/男性/サービス業/東京)

10位/小野薬品工業:「がん免疫療法の進化に期待」(55歳/男性/サービス業/広島)

## ■TOP10

順位	前年順位	企業名	得票数
1位	(2位)	ソフトバンクグループ	95
2位	(6位)	日産自動車	62
3位	(9位)	楽天	61
4位	(1位)	トヨタ自動車	45
5位	(36位)	ZOZO (初)	28
6位	(11位)	アマゾン・ドット・コム (初)	17
7位	(-位)	本田技研工業	16
8位	(19位)	NTTドコモ	8
	(26位)	メルカリ (初)	
10位	(-位)	小野薬品工業 (初)	6
	(3位)	ソニー	

※(初)=今回初めてトップ10入り ※(-位)=前回調査得票無し ※法人格略/得票同数の場合は50音順

## 【調査概要】

調査対象:従業員数6人以上の企業経営者607人

有効回答:471(業種等はP.3)

調査期間:2018年11月20日~29日(10日間)

調査方法:インターネット調査(2019年に注目する会社1社を自由記述で尋ねる)



学校法人産業能率大学（東京都世田谷区）は、従業員数が6人以上の企業経営者（経営トップ）を対象に、2019年に注目している会社を自由記述で1社回答してもらい、その結果を2019年「社長が注目する会社」としてまとめました。調査は、2018年11月20日から29日までインターネット調査会社を通じて行いました（有効回答471）。

## 2019年「社長が注目する会社」

2019年「社長が注目する会社」で最多得票となったのは**ソフトバンクグループ**でした。昨年末に通信子会社を上場させた同社には、調達した資金をもって「次はどこと組むのか」（55歳/男性/サービス業/神奈川）、「多方面への事業展開が今はマイナスにみえても先には収益を上げそう」（50歳/男性/電気・ガス・熱供給・水道業/岐阜）など、今後“投資”を軸とした他業種との提携や多方面への事業展開に注目する声が集まりました。また、今回初めてトップ10入りしたのは、ユニークなサービスや宣伝が話題を呼び次の一手に注目が集まる**ZOZO**（5位）、右肩上がりに規模を拡大するEC市場で存在感をみせる**アマゾン・ドット・コム**（6位）、外国人の積極採用などを通じたグローバル化や今後の業績の成長に注目が集まる**メルカリ**（8位）、昨年のノーベル賞受賞で話題となったがん免疫薬「オプジーボ」を製造販売する**小野薬品工業**（10位）の4社でした。一方、**本田技研工業**（7位）は新事業の航空機製造に引き続き高い注目が集まり、3年ぶりにトップ10入りしました。

トップ10に入った企業には新分野への事業展開に対する期待が集まるとともに、近年話題となっている技術・サービスを提供する企業は今後どれほどその業績を伸ばせるかに注目する声もあがっています。

2019年「社長が注目する会社」トップ10 ※(初)=今回初めてトップ10入り ※商号略/得票同数の場合は50音順

順位 (前年)	企業名	主な理由
1位 (2位)	ソフトバンクグループ	「次はどこと組むのか」（55歳/男性/サービス業/神奈川） 「多方面への事業展開が今はマイナスにみえても先には収益を上げそう」（50歳/男性/電気・ガス・熱供給・水道業/岐阜） 「通信子会社の上場後の評価に注目したい」（57歳/男性/その他/北海道）
2位 (6位)	日産自動車	「従業員の交代に因る将来性に注目」（46歳/男性/卸売・小売業/愛知） 「前会長の不祥事を收拾して企業イメージを回復できるか」（55歳/男性/製造業/埼玉） 「今後のアライアンスがどうなるか気になる」（46歳/女性/教育・学習支援業/愛知）
3位 (9位)	楽天	「携帯通信事業の寡占に風穴を開けられるか」（63歳/男性/建設業/東京） 「三大携帯通信キャリアへの参入で競争原理が働き利用者の利便性が高まるか」（66歳/男性/教育・学習支援業/埼玉） 「グループシナジーの発揮に期待」（49歳/男性/卸売・小売業/大阪）
4位 (1位)	トヨタ自動車	「自動運転やEV化に向けてどう動くか楽しみ」（47歳/男性/製造業/岐阜） 「トランプ政権下の米国市場でどう戦っていくのか関心がある」（59歳/男性/その他/埼玉）
5位 (36位)	ZOZO (初)	「世の中の動きや消費者のニーズにどこまで対応していけるか」（53歳/男性/運輸業/大阪） 「また何か新しいことをしそう」（43歳/男性/建設業/千葉）
6位 (11位)	アマゾン・ドット・コム (初)	「ネット通販の世界的会社。今後ますます伸びそう」（66歳/男性/建設業/岩手） 「難しくなっている時代の中でサービス品質を維持できるか」（46歳/男性/情報通信業/愛知）
7位 (-位)	本田技研工業	「自動車だけでなく航空機にも挑戦する技術力と行動力」（69歳/男性/建設業/福島） 「多くの人気車を新たに生み出している」（50歳/男性/製造業/千葉）
8位 (19位)	NTTドコモ	「日本の携帯会社のトップとして今後のサービスに期待が持てる」（58歳/男性/教育・学習支援業/神奈川） 「電話料金の値下げに関する動向と通信業界の改革への期待」（58歳/男性/サービス業/群馬）
同8位 (26位)	メルカリ (初)	「企業のグローバル化や新たなビジネスモデルに注目したい」（64歳/男性/サービス業/東京） 「事業・業績がどこまで伸びるか注目している」（52歳/男性/サービス業/東京）
10位 (-位)	小野薬品工業 (初)	「がん免疫療法の進化に期待」（55歳/男性/サービス業/広島） 「ノーベル賞で注目を集めたオプジーボに続く新薬にたどり着けるか」（49歳/男性/不動産業/神奈川）
同10位 (3位)	ソニー	「ゲーム事業が好調だから」（52歳/男性/卸売・小売業/新潟） 「吉田社長の次の一手に注目している」（60歳/男性/サービス業/東京）



## 調査概要

調査対象：従業員数6人以上の企業経営者 607人

調査方法：インターネット調査

調査期間：2018年11月20日～29日（10日間）

有効回答：471

回答者属性：

・性別		・業種	
男性	453 (96.2%)	製造業	69 (14.6%)
女性	18 (3.8%)	卸売・小売業	85 (18.0%)
	471 (100.0%)	サービス業	89 (18.9%)
・従業員規模		情報通信業	34 (7.2%)
6～30人	345 (73.2%)	建設業	60 (12.7%)
31～50人	47 (10.0%)	運輸業	22 (4.7%)
51～100人	30 (6.4%)	医療・福祉	23 (4.9%)
101～300人	32 (6.8%)	不動産業	19 (4.0%)
301～1000人	9 (1.9%)	教育・学習支援業	14 (3.0%)
1001人以上	8 (1.7%)	飲食店・宿泊業	15 (3.2%)
	471 (100.0%)	金融・保険業	17 (3.6%)
・資本金規模		電気・ガス・熱提供・水道業	6 (1.3%)
1000万円未満	151 (32.1%)	その他	18 (3.8%)
1000万円以上3000万円未満	204 (43.3%)		471 (99.9%)
3000万円以上5000万円未満	41 (8.7%)	・本社所在地	
5000万円以上1億円未満	39 (8.3%)	北海道・東北	58 (12.3%)
1億円以上10億円未満	25 (5.3%)	関東	175 (37.2%)
10億円以上50億円未満	5 (1.1%)	中部	75 (15.9%)
50億円以上	6 (1.3%)	近畿	87 (18.5%)
	471 (100.1%)	中国	16 (3.4%)
・上場区分		四国	20 (4.2%)
東証一部上場	5 (1.1%)	九州・沖縄	40 (8.5%)
東証二部上場	1 (0.2%)		471 (100.0%)
その他上場	3 (0.6%)	・上場区分	
非上場	462 (98.1%)	東証一部上場	5 (1.1%)
	471 (100.0%)	東証二部上場	1 (0.2%)
		その他上場	3 (0.6%)
		非上場	462 (98.1%)
			471 (100.0%)

\* 百分比は小数点以下第二位を四捨五入しており、項目によって数値の和が100にならない場合がある。



(ご参考)「社長が注目する会社」過去データ 2010 (第1回) ~2019 (第10回)

	2010年(第1回) (n=612)	2011年(第2回) (n=389)	2012年(第3回) (n=387)	2013年(第4回) (n=373)	2014年(第5回) (n=344)	2015年(第6回) (n=440)	2016年(第7回) (n=422)	2017年(第8回) (n=342)	2018年(第9回) (n=324)	2019年(第10回) (n=471)
1位	トヨタ自動車	トヨタ自動車	<u>オリンパス</u>	シャープ	トヨタ自動車	トヨタ自動車	トヨタ自動車	ソフトバンクグループ	トヨタ自動車	ソフトバンクグループ
2位	日本航空	ソフトバンク	ソフトバンク	パナソニック	ソフトバンク	ソフトバンク	ソフトバンクグループ	トヨタ自動車	ソフトバンクグループ	日産自動車
3位	ファーストリテイリング	日本航空	トヨタ自動車	ソフトバンク	楽天	ソニー	<u>三菱航空機</u> 三菱重工業	シャープ	ソニー	楽天
4位	日本マクドナルドHD パナソニック	ファーストリテイリング	<u>ディー・エヌ・エー</u>	トヨタ自動車	NTTドコモ	<u>富士フイルムHD</u>		日産自動車	東芝	トヨタ自動車
5位		楽天	アップル	ソニー ファーストリテイリング	東京電力	NTTドコモ <u>サントリーHD</u>	東芝 <u>日本郵政</u>	<u>日本電産</u> <u>三菱自動車工業</u> <u>LINE</u>	<u>テスラ</u>	<u>ZOZO</u>
6位	日産自動車 ソニー	パナソニック	ファーストリテイリング		シャープ				日産自動車	<u>アマゾン・ドット・コム</u>
7位		<u>東芝</u>	<u>東京電力</u>	アップル 日本航空	ソニー パナソニック	パナソニック ファーストリテイリング <u>リクルートHD</u>	アップル		<u>神戸製鋼所</u> 任天堂	本田技研工業
8位	楽天	<u>アップル</u> 本田技研工業	パナソニック				シャープ ソニー	三菱重工業		NTTドコモ <u>メルカリ</u>
9位	シャープ ソフトバンク 本田技研工業		<u>NTTドコモ</u>	東京電力	日産自動車			<u>九州旅客鉄道</u> <u>任天堂</u>	<u>グーグル</u> 楽天	
10位		シャープ 日産自動車	日産自動車	本田技研工業	本田技研工業	本田技研工業 <u>三菱重工業</u>	本田技研工業 楽天			<u>小野薬品工業</u> ソニー

※二重下線は初のトップ10入り ※法人格略/得票同数の場合は50音順